

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	仮称) 吉良様マンション新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府高槻市川添二丁目1603-1他	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域/第一種中高層住居	平均居住人員	140 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	2,317 m ²	作成者	生和コーポレーション 百合伸仁
建築面積	801 m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,129 m ²	確認者	生和コーポレーション 百合伸仁



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	97%
③ 上記+②以外の	97%
④ 上記+	97%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (スコア= 3.3)

音環境	3.3
温熱環境	3.0
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

機能性	2.5
耐用性	2.9
対応性	2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア= 3.0)

建物の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.0
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

地球温暖化	3.1
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	建物形状や色彩等に配慮して周辺環境に合致したデザインにしている。	その他 工事中における廃棄物削減、リサイクルについては可能な範囲内で配慮する。
Q1 室内環境	建物全面的にF☆☆☆☆を採用し空気質環境の向上の配慮をする。外部に接する建具についてはT-2を計画し遮音対策にも配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) 環境・周辺への配慮は対応が難しいが出来る限りの配慮をした。(緑化条例等の遵守)
LR1 エネルギー	太陽光パネルの設置。	LR3 敷地外環境 建築設備に伴う排熱は低温排熱に配慮する。
Q2 サービス性能	情報通信設備を装備する。建物における耐用年数の確保にも配慮する。	
LR2 資源・マテリアル	主要水栓に節水コマの使用及びリサイクル材の使用に配慮する。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	仮称)吉良様マンション新築工事		
	建設地	高槻市川添二丁目1603-1他		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】

省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.1	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体	3	
			住戸・宿泊		3.0
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			—
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.0
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		2.0		
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					